

アドバンス・ケア・プランニング

もしもあなたが病気の進行などで、自分の考えを伝えられなくなった場合に備えて、ご家族や医療者と一緒に話し合ってみませんか。病気が重くなる前に、あなたの望んでいる医療やケアについて、ご自分の意思や言葉で伝えてみませんか。

もしものときのために高松医療センターでは、あなたの身体や気持ちに応じて、前もってあなたが大切にされていることや望む医療やケアなどについて考え、繰り返し話し合っていきます。あなたの心づもりに添うために、あなたとあなたのご家族とも話し合い、どうすればよいのか一緒に考えていきます。そして一度決めた心づもりでも、あなたの思いが変わるような場合には、その都度なんどでも話し合うことができます。

あなたの心づもりについてご家族と共に、医療・介護・福祉の専門職のチームが支えます。

ご希望により、医療に関するあなたの心づもりは、当院の「人生の最終段階における医療に関する希望書（リビング・ウィル）」に記入して頂くこともできます。「リビング・ウィル」によって、あなたがどのような医療を望み、またどのような処置を避けて欲しいのかを医療者に明確に伝えることが可能ですが、作成するかどうかはあなたの自由です。

【話し合いの進め方の一つの例】

わたしの心づもり
～もしものときのために伝えておきたいこと～

- Step① あなたが健康でなくなった時に、大切にしたいことや希望や思いについて考えましょう。
- Step② あなたの病気や今の症状について、主治医の先生に相談し、正しく知りましょう。
- Step③ 予期しない出来事などで、あなたの希望を伝えることができなくなることがあるかもしれません。あなたの代わりに意思決定をしてくれる人を選びましょう。
- Step④ あなたの医療に関する希望や思いについて、ご家族などに伝え、医療の関係者を含めて一緒に話し合しましょう。
- Step⑤ あなたの考えをリビング・ウィルにすることもできます。また、その内容はいつでも見直すことができます。



まずはお気軽に地域医療連携室までご連絡下さい

お問い合わせ先
高松医療センター 地域医療連携室
TEL：087-841-2162 FAX：087-841-2178